



2022年8月期第2四半期 決算説明会資料

2022年4月14日

株式会社エヌ・ピー・シー
代表取締役社長
伊藤 雅文

2022年8月期 第2四半期決算概要



連結損益計算書

(単位：百万円)

	2021年8月期 第2四半期		2022年8月期 第2四半期					
	実績		期初予想 (2021.10.12発表)		実績			
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	前期比 (%)	期初予想比 (%)
売上高	5,792	100.0	2,350	100.0	1,592	100.0	△ 72.5	△ 32.3
売上総利益	1,523	26.3	666	28.3	448	28.1	△ 70.6	△ 32.7
販売管理費	454	7.8	506	21.5	447	28.1	△ 1.5	△ 11.7
営業利益	1,068	18.5	160	6.8	1	0.1	△ 99.9	△ 99.4
営業外収益	1	0.0	2	0.1	23	1.4	2,200.0	1,050.0
営業外費用	19	0.3	13	0.6	3	0.2	△ 84.2	△ 76.9
経常利益	1,051	18.2	149	6.3	21	1.3	△ 98.0	△ 85.9
特別利益	-	-	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	1,051	18.2	149	6.3	21	1.3	△ 98.0	△ 85.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	725	12.5	146	6.2	△ 75	-	-	-

(注) 1. 2021年8月期の各数値は、2022年8月期から適用している「収益認識基準に関する会計基準」に従い遡及修正した後の数値となっております。

2. 前期比及び期初予想比はその増減比です。

■売上高

- ・ 部品の長納期化によりリードタイムが長くなり、国内向け装置の一部で売上計上時期が後ろ倒しとなった。
- ・ First Solar社がフル稼働状態のため、既存ラインに対する改造や現地作業のタイミングが取れず、作業スケジュールが後ろ倒しとなった。
- ・ 米国向けFA装置案件で、プロジェクトの延期が続いたため実現性が低くなり、与信上のリスクが高まったため、契約を解除した。

■売上総利益

売上高の減少に伴い売上総利益は期初予想を下回ったが、利益率はほぼ期初予想通りの水準を確保した。

■販売管理費

主に以下の要因で全体的に減少傾向となった。

- ・ 租税公課、支払手数料：米国税金に関連して減少。
- ・ 研究開発費：研究開発用装置の部品の長納期化により、開発案件に期ずれが発生。

■営業利益・経常利益

売上高の減少により、営業利益・経常利益は期初予想を下回った。

- ・ 営業外収益：保険解約に伴う返戻金で、営業外収益が発生。
- ・ 営業外費用：コミットメントライン契約を更新しなかったことで手数料が減少。

■親会社株主に帰属する当期純利益

減収に伴う減益と、繰延税金資産の取り崩しにより純損失となった。

2022年8月期 第2四半期決算概要 装置関連事業

(単位：百万円)

	2021年8月期 第2四半期		2022年8月期 第2四半期					
	実績		期初予想 (2021.10.12発表)		実績			
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)	期初予想(%)
売上高	5,619	100.0	2,201	100.0	1,421	100.0	△ 74.7	△ 35.4
売上総利益	1,454	25.9	636	28.9	421	29.6	△ 71.0	△ 33.8
販売管理費	137	2.4	158	7.2	131	9.2	△ 4.4	△ 17.1
営業利益	1,316	23.4	478	21.7	289	20.3	△ 78.0	△ 39.5

- (注) 1. 2021年8月期の各数値は、2022年8月期から適用している「収益認識基準に関する会計基準」に従い遡及修正した後の数値となっております。
2. 上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比及び期初予想比はその増減比です。

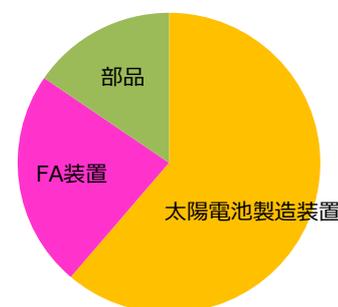
■売上高

- ・ 太陽電池製造装置：First Solar社に既設装置の改造や追加装置を売上
その他米国メーカーに衛星用太陽電池製造装置を売上
- ・ FA装置：電子部品業界の主要顧客や自動車業界向けに搬送装置等を売上
- ・ 部品：ほぼ予定通りの売上を計上

■売上総利益

ほぼ予定通りの利益率を確保した

売上高の内訳



2022年8月期 第2四半期決算概要

環境関連事業

(単位：百万円)

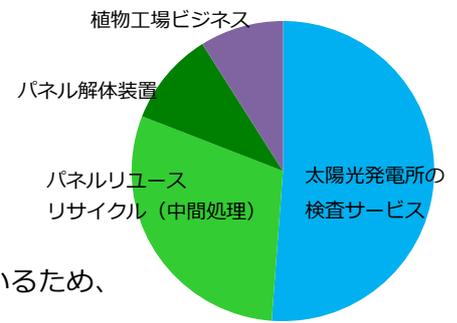
	2021年8月期 第2四半期		2022年8月期 第2四半期					
	実績		期初予想 (2021.10.12発表)		実績			
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)	期初予想(%)
売上高	173	100.0	148	100	170	100.0	△ 1.7	14.9
売上総利益	68	39.3	29	19.6	27	15.9	△ 60.3	△ 6.9
販売管理費	28	16.2	33	22.3	27	15.9	△ 3.6	△ 18.2
営業利益	39	22.5	△3	-	0	-	-	-

(注) 1. 2021年8月期の各数値は、2022年8月期から適用している「収益認識基準に関する会計基準」に従い遡及修正した後の数値となっております。
2. 上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比及び期初予想比はその増減比です。

■売上高

- ・ 検査サービス：大規模太陽光発電所の検査を予定通り実施
- ・ リユース・リサイクル：排出パネルが発生し期初予想を上回って推移した
- ・ パネル解体装置：海外初案件となるフランス産廃業者向けの売上を計上（フレーム除去装置）
- ・ 植物工場ビジネス：生産分は愛媛県内を中心に全て販売した

売上高の内訳



■売上総利益

全体に以下の要因で低調となった

- ・ 利益率の低い排出パネル処理関連サービスの売上比率が高かった
- ・ 植物工場の関連で減価償却費が増加し、材料を一括購入、一括計上しているため、利益率に影響した

Copyright © 2022 NPC Incorporated. All rights reserved.

2022年8月期 第2四半期決算概要

受注高・受注残高

(単位：百万円)

	2021年8月期 第2四半期		2022年8月期 第2四半期			
	受注高	受注残高	受注高	前期比(%)	受注残高	前期比(%)
装置関連事業	1,710	4,031	4,496	162.9	8,867	120.0
環境関連事業	65	89	392	503.0	322	261.8
合計	1,775	4,121	4,888	175.3	9,189	123.0

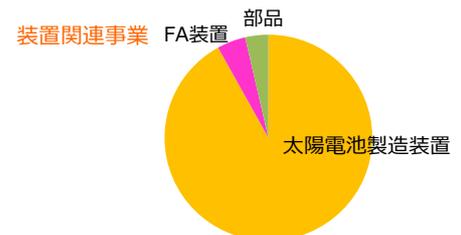
(注) 1. 2021年8月期の受注残高は、2022年8月期から適用している「収益認識基準に関する会計基準」に従い遡及修正した後の数値となっております。
2. 前期比及び期初予想比はその増減比です。

■装置関連事業

予定した案件をしっかりと受注して全体的に好調となった

- ・ First Solar社の新工場向け装置を受注した
- ・ 好調な電子部品業界の主要顧客から安定的にリピート受注を獲得し、今後も継続
- ・ 国内太陽電池メーカーから衛星用太陽電池製造装置を受注

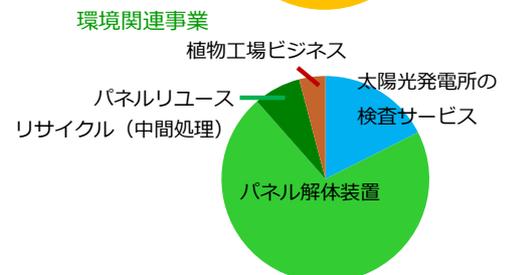
受注高の内訳



■環境関連事業

全体に好調となった

- ・ パネル解体装置：自動解体ライン2式（フランス・日本）
フレーム除去装置1式（米国から初受注）
- ・ 検査サービス・パネルリユース・リサイクルは堅調
- ・ 植物工場ビジネスは増産分の受注を着実に獲得



Copyright © 2022 NPC Incorporated. All rights reserved.

2022年8月期 第2四半期決算概要 貸借対照表

(単位：百万円)

	2021.8末	2022.2末		2021.8末	2022.2末
資産	10,004	12,005	負債	3,017	5,389
流動資産	5,954	8,138	流動負債	2,973	5,336
現預金	3,326	3,971	買掛金・電子記録債務	484	1,851
受取手形・売掛金・電子記録債権	700	501	前受金	1,970	3,051
仕掛品・製品・商品	1,805	3,231	その他	519	434
原材料・貯蔵品	5	35	固定負債	44	53
その他	117	398	純資産	6,986	6,589
固定資産	4,049	3,840	資本金・資本剰余金	5,555	5,553
建物・構築物（純額）	1,970	1,903	利益剰余金	1,453	1,334
土地	1,548	1,548	自己株式	△53	△344
その他	531	389	その他	31	46

(注) 2021年8月期の各数値は、2022年8月期から適用している「収益認識基準に関する会計基準」に従い遡及修正した後の数値となっております。

■変動要因について

- ・ 好調な受注により総資産は拡大し、仕掛品・買掛金・前受金等が増加。
- ・ 2021年10月に自己株式を取得（310百万円）。

■健全性について

- ・ 有利子負債ゼロを維持。
- ・ 運転資金及び今後のキャッシュポジションを考慮し、経費削減のためコミットメントライン契約は更新せず。
- ・ 自己資本比率は55.0%。

Copyright © 2022 NPC Incorporated. All rights reserved.

6

2022年8月期 通期業績予想の修正

連結損益計算書

(単位：百万円)

	2021年8月期 通期		2022年8月期 通期					
	実績		期初予想 (2021.10.12発表)		修正予想 (2022.4.12発表)			
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	前期比 (%)	期初予想比 (%)
売上高	7,823	100.0	5,775	100	4,454	100	△ 43.1	△ 22.1
売上総利益	2,138	27.3	1,647	28.5	1,311	29.4	△ 38.7	△ 20.4
販売管理費	966	12.3	986	17.1	943	21.2	△ 2.4	△ 4.4
営業利益	1,172	15.0	661	11.4	368	8.3	△ 68.6	△ 44.3
営業外収益	3	0.0	3	0.1	25	0.6	733.3	733.3
営業外費用	24	0.3	18	0.3	6	0.1	△ 75.0	△ 66.7
経常利益	1,151	14.7	646	11.2	387	8.7	△ 66.4	△ 40.1
特別利益	-	-	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	1,151	14.7	646	11.2	387	8.7	△ 66.4	△ 40.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	778	9.9	641	11.1	165	3.7	△ 78.8	△ 74.3

(注) 1. 2021年8月期の各数値は、2022年8月期から適用している「収益認識基準に関する会計基準」に従い遡及修正した後の数値となっております。

2. 前期比及び期初予想比はその増減比です。

Copyright © 2022 NPC Incorporated. All rights reserved.

7

■売上高

- ・ 部品の長納期化によりリードタイムが延び、売上計上時期の期ずれが発生する見込み
- ・ 期中受注・期中売上を予定していた一部の案件で、受注時期のずれや、リードタイムが長くなることで売上計上が来期となる見込み

部品の長納期化・コスト増加の状況

- ・ 半導体不足等の要因で電装品、機械部品、加工品が長納期化
- ・ 海外など別のルートから調達する場合、部品価格が上昇
- ・ 輸送費の上昇で韓国等海外仕入先からの調達コストが増加
- ・ 原材料費の上昇で部品全体の価格が上昇

■売上総利益

通期の売上高の減少に伴い減少見込みだが、期初予想と同水準の利益率を確保

■販売管理費

上期に減少した分の一部が通期にも影響し減少

■営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

通期の減収や繰延税金資産の取り崩しにより減益見込み

今後の売上及び受注について

■売上について

- ・ 部品の長納期化の影響を受けた案件や、受注が遅れたことにより今期中に売上計上できない案件は、今期から期ズレするものの来期には売上計上となる予定
- ・ 来期に売上計上を予定しているFirst Solar社の新工場向けの装置（約57億円）については製造がスタートしており、現時点でスケジュールに大きな変更はない

■受注について

下期以降受注は好調を維持していく見込み

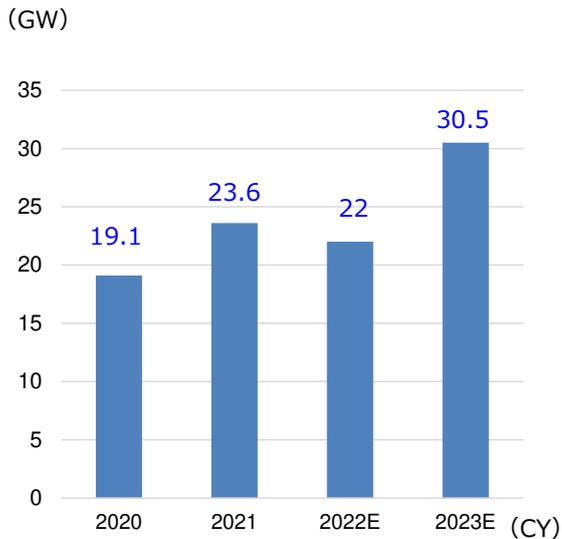
部品の長納期化に収束の目途は立っていないが、顧客サイドでもリードタイムを想定して発注の前倒しがなされている

- ・ First Solar社から引き続き受注が堅調
- ・ 電子部品業界の主要顧客から引き続きFA装置の受注が継続
- ・ 米国、オーストラリア、東欧等の産廃会社からのパネル解体装置の受注

今期は売上高の期ズレが発生するものの、
受注は旺盛であり、来期以降の業績は好調となる見込み

①米国太陽電池市場動向

■米国の太陽光発電設置量予測



(出所：US Solar Market Insight, SEIA, WoodMac)

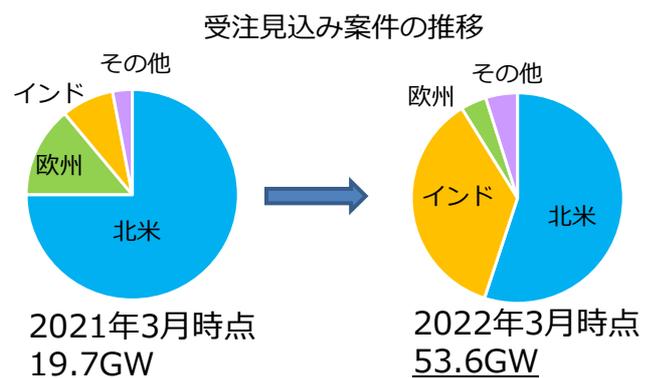
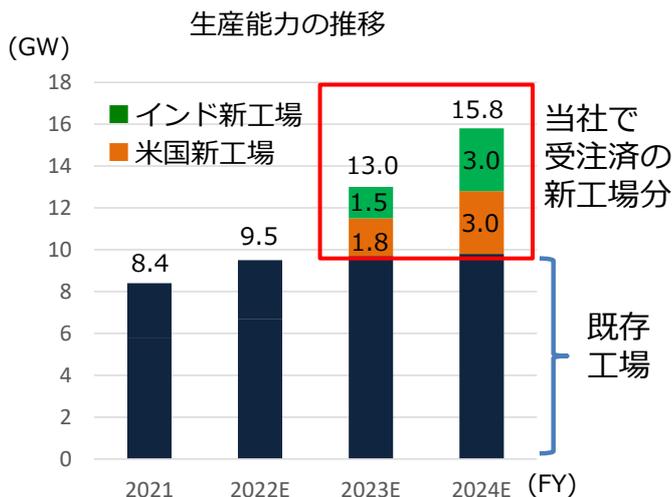
■ First Solarに有利な外部環境

- ・ 輸入太陽光パネルの価格上昇
- ・ 国内製造保護政策
 - ① 「バイ・アメリカン法」の運用を強化 (エネルギーや情報通信機器、医療品など6分野)
 - ② 太陽光発電関連製品の生産量に応じたインセンティブの付与法案 (Build Back Better法、Solar Energy Manufacturing法など)
 - ③ 2022年2月で終了予定だった輸入パネルに対するセーフガード関税の延長を決定
- ・ 強制労働への関与が疑われる中国製品の輸入規制

再生可能エネルギーへの高いニーズを背景に市場は継続的に成長する予測

②First Solarとの取引

■ First Solar社の生産及び受注状況



(出所：First Solar: Q4'20 Earnings and 2021 Guidance Call, Feb. 25, 2021, First Solar: Q4'21 Earnings and 2022 Guidance Call, Mar. 1, 2022)

高い需要を背景に引き続き設備投資を検討

■ 当社の取引状況と今後の取り組み

- ・ 2023年8月期に新工場向け装置約57億円分を売上計上予定
- ・ 既存ラインの装置に対する改造などで下半期も引き続き受注が堅調
- ・ 米国の生産拠点 (ミシガン州) からカスタマーサービスを強化して対応

装置関連事業：太陽電池製造装置

③ その他太陽電池関連企業との取引

■世界の市場動向

- ・中国製パネルの価格上昇、サプライチェーンの脱中国依存
→中国以外のパネルメーカーによる設備投資や新規参入の動き



■米国太陽電池メーカーとの取引

- ・大手米国企業に衛星用パネル製造装置を売上済



■国内太陽電池メーカーとの取引

- ・住宅用パネル向け太陽電池製造装置を受注
→2022年8月期中に売上予定
 - ・衛星用パネル向け太陽電池製造装置を受注
→2023年8月期に売上予定
- 米国・国内メーカーともに設備投資に意欲あり



装置関連事業：FA装置

■国内での状況や取り組み

- ・好調な電子部品業界の顧客から受注が増加している
今後中期的に受注し、第二の主要顧客となる見込み
- ・その他既存顧客からリピート受注を獲得し、安定顧客を増やす（自動車業界、電子部品業界等）
- ・各業界で新製品開発のための真空ラミネーターや貼り合せ装置の需要が増えている
需要を取り込み標準装置の受注を獲得する



■米国での状況や取り組み

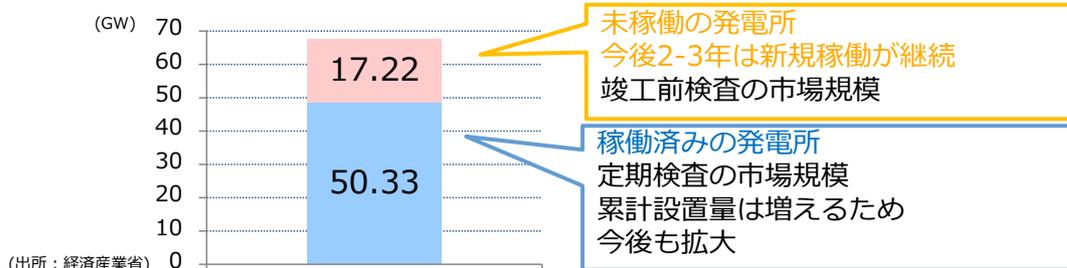
- ・北米初のパネル解体装置を受注し、更なる引き合いを受け、追加受注見込み
- ・NPC Americaにデモ機を設置して全米のE-waste（電気製品の産廃処理業者）へ営業を展開中
- ・現地日系企業・ローカル企業を対象にFA装置の受注を増やす

■ 当社の強み

精密検査における独自技術 幅広い検査メニュー、全国展開の検査ネットワーク
 大手EPC、大手電気工事会社との取引実績



■ FIT案件の稼働状況 (2021年9月現在)



Copyright © 2022 NPC Incorporated. All rights reserved.

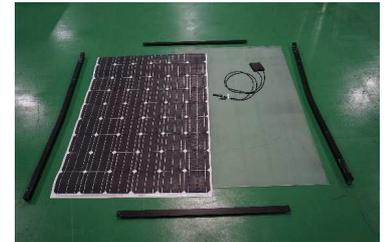
■ 当社のビジネスモデル



Copyright © 2022 NPC Incorporated. All rights reserved.

- 松山工場でのホットナイフ分離法による中間処理で**96.9%のリサイクル率を達成**
(2019.7～2021.12実績)

部材	リサイクル状況
 ジャンクションボックス	○：銅線部分は有価物として売却可能 ×：端子のプラスチック部分は廃棄
 アルミフレーム	○：有価物として売却可能
  板ガラス ガラスくず	○：有価物として売却可能 ガラス砂などに再利用される
 セル/EVAシート	○：有価物として売却可能 精錬会社で銀などを抽出する



環境関連事業：パネル解体装置

①当社のホットナイフ分離法の有効性

■リサイクル技術の比較

手法	処理方法等	主な装置メーカー
ホットナイフ分離法	約300℃に加熱したナイフでガラスとセルシート（シリコン、金属等含む）に分離する。	エヌ・ピー・シー社
粉砕タイプ	ハンマーやローラー等を用いてパネルのガラスを物理的に粉砕し、ガラス部分を取り除く。	環境保全サービス社 チヨダマシナリー社 近畿工業社 ドニコ・インター社
ブラストタイプ	パネルを固定して研磨剤を吹きつけてガラスを砕いて削り取る。	未来創造社
熱処理タイプ	パネルを炉の中に入れ、数百度の高温で封止材（樹脂）を熱分解し、ガラスと金属を取り出す。	新菱社 新見ソーラー社

(出所：当社調べ『事業計画および成長可能性に関する事項』による)

■ホットナイフ分離法の特長と優位性

- ガラスと金属の分離性能が高く、リサイクル効率が高い
- 処理速度が速く処理能力が高い（1枚あたり60秒）
- 省エネルギーでの処理が可能

②国内向けパネル解体装置の販売

■装置の実績

ガラス分離装置



「ホットナイフ分離法」を搭載
ガラスとセルシートを分離

導入実績：岡山・京都・東京・仙台・松山（自社）
福島（基本合意）

各地域で排出されたパネルを導入拠点で中間処理する

フレーム除去装置



アルミフレームとJ-Boxを除去

導入実績：北海道・香川

パネルリサイクルに参入する廃棄物処理業者が増加
→今後も数社受注予定

■リサイクル体制の構築

解体装置の性能向上を図るとともに普及を進め、
将来のパネル廃棄に備えリサイクル体制を構築

★ フレーム除去装置&
ガラス分離装置

● フレーム除去装置のみ



③海外向けパネル解体装置の販売

ホットナイフ分離法が高く評価されており、パネルリサイクルのグローバルスタンダードを目指す

■欧州

- ・FIT開始が日本より10年早く、既にパネル排出が進んでいる
- ・環境意識が高くリサイクルに積極的

実績や状況：①フランスの産廃業者Envieから装置を受注・納品
- フレーム除去装置 → 納入済み
- ガラス分離装置(自動解体ライン) → 2022年納入予定
②東欧地域からの引き合いが増加

■米国

- ・世界第2位の累計設置量
- ・廃棄パネルが増加中

実績や状況：①E-Waste（電気製品の産廃処理業者）がパネルリサイクル事業に参入
NPC Americaが主体となり営業展開中
②E-Waste企業から初受注を獲得（フレーム除去装置）、自動解体ラインも追加受注見込み
③州立大学から共同研究のオファーがあり

■オーストラリア

- ・パネルの設置量が近年増加
- ・環境意識が強く、廃棄パネルの埋め立てがビクトリア州で禁止 さらに対象の州が増える見込み

実績や状況：官民共同の研究開発プロジェクトで装置の引き合いあり



■ 受注済 ■ 引合い

環境関連事業： ⑤ 植物工場ビジネス

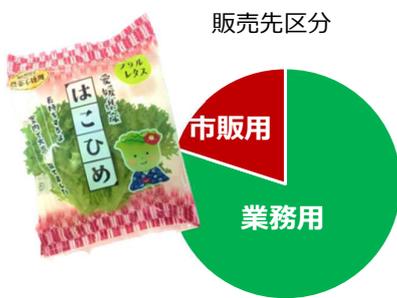
■ 生産について

- ・ 2022年2月に工場を拡張し、生産量を当初2021年4月から2倍に増産（約1,080kg/週）
- ・ グリーンリーフ、フリルレタスに加え、サニーレタスを追加して3種類を生産開始
- ・ 今後は現行の3倍程度に工場を拡張できる余地あり

■ 販売や広報について

- ・ 愛媛県内における『地産地消』として、小売店等市販用のほか、安定的な業務用の販売先を確保
- ・ 増産分も含めて販売先をほぼ確保済み
- ・ テレビCM、youtube、各種SNS（Instagram、twitter、facebook）で情報を発信中

今後も段階的に増産をしながら2024年8月期に黒字化を目標に取り組んでいく



Copyright © 2022 NPC Incorporated. All rights reserved.

20

新規ビジネスの進捗について

ペットボトルの自動選別装置



- AIを活用した自動判定システム
 - ロボットによる自動選別
- 手作業のごみ分別を自動化し、安全衛生、人手不足などの課題解決

広島県の産業廃棄物処理業者で検証中
補助金なしでも導入可能な価格帯で販売先を拡大

鶏糞によるクリーンエネルギーを利用した肥料製造

- 鶏糞をメタン発酵させ、発酵残渣を乾燥設備で乾燥、肥料を製造
- 発生したメタンガスを利用してバイオガス発電機で発電、乾燥設備や鶏舎の電力を賄う



鶏糞



肥料



2021年9月～
松山工場でテストを開始
メタン発酵が順調に進捗中

2022年3月～
残渣の乾燥テスト、成分分析を開始

■顧客に特化したカスタマイズ装置

First Solar、電子部品業界の主要顧客向けを中心にFA装置を安定的に受注

■スタンダード製品のラインナップ



製品・サービスのスタンダード化をより進め、安定したビジネスを増やしていく

IRメールマガジンのご案内

IRメールマガジンで当社の最新情報をお知らせしています

IRメールマガジン登録のメリット

-  適時開示があった場合、速やかに情報を入手することができます。
-  月1回配信している「NPC通信」では最新の市場動向等をお知らせします。
-  不定期で開催している工場見学会等をメルマガ登録者に優先的に早期案内します。

上記以外のお知らせも都度配信しています

■登録方法

- ①当社社員にお声がけ下さい。当社で登録作業を行います。
- ②以下のURLから必要事項を記入の上、ご登録作業をお願いします。

<https://www.npcgroup.net/ir/mail-magazine>



NPCグループは、

「我々は、もの創りを通して、自然と社会と人間に必要とされる企業を目指します。」
という企業方針に則り、たゆまぬ技術革新の努力により創り出す製品を通じ、地球環境、
地域社会等に貢献して参ります。

IR問い合わせ窓口

株式会社エヌ・ピー・シー

総務部 IR担当

電話 : 03-6240-1206

FAX : 03-5817-8835

E-Mail : npc.ir@npcgroup.net

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。